

## 令和6年度第1回沼田市総合教育会議会議録

### 1 開催日

令和6年9月25日（水）

### 2 場所

テラス沼田 庁議室

### 3 出席者

沼田市長 星野 稔

沼田市教育委員会

教育長 竹之内 篤

委員 中村 春夫

委員 永井 和恵

委員 武藤 英子

委員 長谷川 清

事務局

星野盾教育部長、栞原満博教育総務課長、林武史学校教育課長、武井良和生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、阿部勝良スポーツ振興課長、織田澤清子教育総務課長補佐

### 4 開会 午前9時25分

### 5 市長挨拶

### 6 会議録署名人の指名

市長が永井和恵委員を指名

### 7 意見交換

議長：星野市長

テーマ

（1）小中学校の統合に係る庁内連携について

○教育総務課長から、沼田市立小中学校適正配置実施計画策定に向けた、庁内検討委員会の設置について説明

◎主な意見

（中村委員）

審議会からの答申のとおり、人口減少の状況から学校も統廃合は避けられないと感じている。事務局でもアンケートや視察の実施など、統廃合に関する研究をしているが、さらに、庁内組織で検討しながら、地域の方々とも連携し、市や教育委員会はリーダーシップをとりながら進めていただきたい。

（市長）

現在教育長を中心に検討しているところであるが、学校の統廃合は先送

りできない課題であると考えているので、しっかり決断をしていきたい。

(永井委員)

沼田市庁内各課との連携を図るため、委員会が立ち上がることは心強いと感じた。

(武藤委員)

教育委員として学校現場に出向いたりする機会があり、改めて人を育てることの大切さを感じている。保護者の窓口や、子供の窓口を設けるなど、工夫することも良いと考える。

(長谷川委員)

学校統廃合の基本方針については、賛成しているところであるので、その方向で進めていただきたい。

(市長)

子供の減り方が顕著であり、現在の出生数は沼田市全体でも約200人である。企業誘致を進め、教育も医療もある安心感を得られる地域となることで、定住促進につなげていきたいと考えている。

## (2) 各種教養講座の推進について

○生涯学習課長から、本市における教養講座（生涯学習講座）の状況や推進のための課題について説明

### ◎主な意見

(長谷川委員)

「まちの達人バンク」を知らなかった。  
教養講座にも様々な分野のものがあるが、利用する年代はどうか。

(生涯学習課長)

書道教室は60歳以上の方が、また歴史関連の講座も高齢の方が多く参加されている。英会話教室では女性の参加が多いと認識している。

(武藤委員)

生涯学習講座には興味があり、以前参加させていただいた。例えば書道ならば数回の講座で上達することが難しく、英語講座では学んだ英語を日常生活で生かす機会がないことから、再受講の希望者が多くなっていることも考えられる。

(永井委員)

魅力的な講座が多いことから、案内の資料を手に触れる機会がもっとあればよいと考える。今は自由な時間がなく参加できる状況ではないが、興味のある講座はある。

(中村委員)

興味のある講座があることから、何かを始めるきっかけになればと考える。

(市長)

新規の方を優先するかどうかについてはどうか。

(生涯学習課長)

講座の参加がサークル活動につながれば良いと考えているが、実際には上達するまでには時間がかかる。現在は、先着順の受付ではなく、新規申込者を優先すべきかどうかを研究している。

(市長)

再受講の申込みをどうするかについてはどうか。

(中村委員)

新規の参加者を優先してもらうことは良いと思う。また、定員については、柔軟に対応いただければと考える。

(永井委員)

現在存在するサークルを案内してもらうことも大切である。また、再受講の方より、新規の方を優先することは良いと考える。

(武藤委員)

先生に魅力がある教養講座があり、再受講を申し込む方がいると思う。新しい方に参加いただくことは必要と考えるが、新規申込者を優先すべきかどうかは難しいところである。

(生涯学習課長)

全ての講座がおおむね定員に達するが、再受講者の申込みを受けない場合、定員に達するかどうかは不明である。

(市長)

また、自主サークルの支援を進めたいということもあるか。

(生涯学習課長)

そうである。それがなかなか進まない状況である。

(教育長)

教養講座については、「広報ぬまた」とホームページでの周知か。

(生涯学習課長)

「広報ぬまた」とホームページである。

(教育長)

「広報ぬまた」等を見た方に、興味を持っていただけるかが重要となる。さらに、受講生の口コミや誘い合いなどが進むとよいと考える。

(市長)

教養講座は、まちづくりの一つの要素であるとも考えるので、お気づきの点があれば、意見を頂戴したい。

(3) その他

(市長)

市の状況について報告させていただく。

市長就任時より、少子化、人口減少、地域の活力低下は課題と考えている。それは、若い人たちが定住できる環境がないことも原因の一つであると考えており、現在、横塚の産業団地の事業を進めている。また、浄水場の移転問題も先送りできるものではなく、焼却施設の課題もある。この数年間は財政を引き締め、合理化を図りながら課題解決のための予算に充てていく必要があり、10年後の沼田市を考えて、現在事業を進めている。

一方、地域に子供がいない、働き手もいないのでは、何のための企業誘致かわからなくなる。地域には、教育と病院が必要であり、そういった受け入れる環境整備は必要であり、私たちは、次世代にしっかりバトンを渡していきたい。

(長谷川委員)

将来のことを考えて取組を進めることは大切であると思う。

(永井委員)

沼田市は、災害が少ない。雪は多い地域であるが、最近はそれほど困ることもなく、是非多くの方に沼田に来ていただきたい。

(武藤委員)

沼田市は災害も少なく、良い地域である。教育の問題も重要である。ピンチをチャンスと思い、夢のある事業を進めていただきたい。

(中村委員)

財政が厳しい中であるが、教育には力をいれていただきたい。沼田市で育った子供たちにとって働く場があり、市外に転出された方が戻れるような地域にしていきたい。

(市長)

沼田市は、地形的にも中山間地域であり、水道も一か所では供給できない。また、市道や橋の整備も必要であり、財政状況を見ながら、より良い生活を送れる地域にしていきたい。

8 閉会 午前10時27分